

会 議 録

会議の名称	第五次座間市総合計画策定に係る分野別団体懇談会【子育て・教育】		
開催日時	令和3年11月4日（木） 19時00分～21時00分		
開催場所	座間市役所5階 5-1会議室		
出席者	<p>【市】</p> <p>佐藤市長、三浦副市長、大木企画財政部長、内田子ども未来部長、安藤教育部長</p> <p>【団体】</p> <p>子育て・教育に関する団体 13団体 15人</p>		
事務局	企画財政部企画政策課		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	一人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議 題	これからの座間市についての意見交換		
資料の名称	次第 これからの座間市について		
会議の結果			
	意見交換		
議事の詳細			
	別紙のとおり		

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 「これからの座間市について」説明

} 別ファイルにまとめています。

4. 意見交換

【コンサルタント】

それでは、意見交換に移りたいと思います。御意見のある方は、挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。

【参加者】

こんばんは。座間ふるさとガイドの会の〇〇といたします。いくつか意見というか御質問も含めてですけれども、お尋ねしたいと思います。最初に総合計画の大切なところ、出発地点はやはりどういうまちづくりをするのかというところが非常に大事だと思います。先ほど第五次の目指すまちの姿は六つの輪だと御説明いただきましたが、これがいわゆるまちの目指す姿のベースになるという事によろしいのですね。この六つの、生活環境や都市基盤などありましたけれども、言葉としては理解できるのですけれども、まちづくりという観点で考えた時に、例えば都市整備というのは具体的にどのようなことを言うのか、もう少し具体的にお示しいただくと良いかなと思いました。それが最初の第1点です。

第2点は基本構想のもとに実施計画というものが掲げられていますが、実施計画という言葉がわかりにくいのですけれども、これは具体的な市の施策あるいは課題という理解でよろしいでしょうか。第五次の総合計画の中で、具体的に行政としての役割、部門といたしますか担当ごとに具体的な課題が定められるという事によろしいでしょうか。具体的な課題というのはどういう形で市民に御説明いただけるのかというのもお聴きしたいと思います。

第3点目に、第四次の中間報告や総括という事から学ぶということも非常に大事な事かなと思います。その点はどのような形で反映されるかという事もお尋ねしたいと思います。

最後をお願いですけれども、市民の計画づくり、計画の実施に向けての参加は大変重要なことだと思います。特にコロナ禍で行政あるいは政治が我々の生活に密接につながって来ていたということの観点から見ても市民の声をきちんと聴く方向性が必要かなと思います。特にコロナ禍で苦しんでいる人が多数いらっしゃるわけですから、これに対して公助という観点で行政ができるのはどういう点かということ期待しているわけですが、そういう事のためには市民の参加についてはぜひ強力に進めていただきたいと思います。以上4点お願いします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。前のほう重なって見にくいかなと思いますけれども整理させていただきます。今回総合計画や実施計画、第四次の総括も含めて少し質問があったかと思います。それと

四つ目は市民参加についてという事で非常に重要なテーマかと思っております。その他総合計画等についての質問や意見交換する前提として聴いておきたいという事があられる方がいらっしゃれば言っていただければまとめて回答いただければと思いますけれどもいかがですか。よろしいですか。また話が進む中で、質問があればしていただければと思います。

まず、総合計画という事でまちづくりのテーマのもう少し具体があればということ、実施計画の位置付けがどのように市民に示されるのかというようなことだったかと思えます。あと第四次の総括と、どのように取り組んでいるのかというような点だったかと思えます。その辺りコメントいただければと思いますけれどもいかがでしょうか。

【企画財政部長】

どういうまちをつくるか具体的にお示しいただきたいという御質問でしたけれども、先ほど申し上げたテーマが、今後座間市の未来を考える上で重要な視点であるという事は御説明させていただきましたけれども、これを具体的にどういうふうにしていくかというところは大変恐縮ですが、まさに今回この会議で皆様の御意見を伺いながら形にしていきたいと思っておりますので、当然掲げたものは重要なテーマという事で今後取り組んでいくというのは間違いないですけれども、その方向性やお考えは皆様からぜひお聴かせいただきたい。今の段階で具体的にこういうものとはお示しはできないというか、皆様の御意見を伺って骨子案を年明けにお示ししますが、そこである程度具体的なものをお示しできるかと思っております。

実施計画について、第四次座間市総合計画の時には政策が九つあり、それをもとに施策をつくり、さらにその下に実施計画をつくったのですけれども、これはいわゆる事業ですね。具体的な〇〇事業という、私どもが予算を編成して実際実施している事業の事でございまして、それをまとめたものが実施計画という事でございます。

第四次座間市総合計画の反映ですけれども、私どもの総合計画の取組結果はホームページにお示しさせていただいております。先ほど市長も触れておりましたけれども、全部の目標を達成することはできなかったということが正直なところでございます。どちらかというとな達成している項目は少ないと認識しております。この現状を認識した中で、総合計画を作っていく中でどのようにこの現状を改善していくかということは考えていかなければならないと考えております。

最後の市民参加につきましては、おっしゃるとおり大変重要なものだとして認識しております。コロナ禍の状況下でなかなか開催できなかったのですけれども、今回こうやって開催をさせていただきまして、皆様に御参加いただいて大変貴重に思っております。今後こういった市民参加の機会の皆様と対話を重ねながら、公助としておっしゃっていましたが、行政としてできることも当然皆様方の御意見の中から考えていかなければいけないと認識をしております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。市民参加についてもコメントいただきました。市民参加については今から御意見いただく中でも非常に重要なテーマだと思いますし、子育て、教育にかかわらずまちづくり全体に関わる事かと思っておりますので、また他の御意見が出てくる中で何かありましたら市長からコメントいただければと思います。その他いろいろな御意見いかがでしょうか。お願いします。

【参加者】

座間ふるさとガイドの会の〇〇でございます。私どもは座間ふるさとガイドの会という名前のおり、座間市内の星谷寺の釣り鐘ですとか、あるいは供養塔とか、というような歴史的な文化財、あるいは灌漑用水や湧水、あるいは河岸段丘、地形的な文化財というようなものを市民に案内してガイドするというような活動をしている者です。私どもの会では、郷土資料博物館の建設を強く望んでおります。これは学芸員を伴ってこういった施設があつたら良いなど。この学芸員の研究のもとに我々がこういった活動を展開していくと。そういう情報発信を我々が、メディアのやり方もありますし、いろいろな情報発信もありますけれど、我々も歩きながら発信していくと。その支えとなるような機関なり組織なりというものを求めております。郷土資料博物館の設置というまちづくりは、第四次総合計画の中ではどんなものに関わるかと思つて少しまとめてみましたが、25番教育環境ですとか、27番教育活動、28番生涯学習、29番市民文化、45番観光といったものに関わってくる内容だと考えております。こういった事業をやるとなると市役所の中にも新たに別の部署を求めるような形になるかもしれませんが、座間市に新たな経済効果も出るのではないかとということも考えております。初めのレベルでは学校の空き教室なども有効に活用していくというところからのスタートも考えられますけれども、建設となりましたら図書館を新たに作るとか、青少年センターを新たに作るかというようなこともあると同時に複合施設というような形で器の問題で提案できたらと思つております。長い年月をかけて郷土資料館整備事業検討委員会というもので提言をまとめさせていただきまして、これを3月に教育長向けにお出ししたところでもありますけれども、座間市の中の民族文化の民具などはごちゃごちゃに保管されており危機的な状況にあるという認識を持っております。また、古文書や歴史的な工芸品、刀や馬具はお持ちになっている方の個人保管という形で運営されており、これも大切な文化財という観点からいくともっとしっかりした保全をやらなければいけないと感じています。こういう話をいたしますと、文化財は座間市には大したものはないじゃないかと、国の重要文化財の星谷寺の、文化庁は鐘としかいいませんが、座間市では「嘉禄三年紀梵鐘」という名前と呼んでいますが、これしかないじゃないのといいますが、そんなことはないわけでありまして、その内容を知らしめるための私たちのガイド活動などところもあるのですが、こういったものをもっともっと知らしめなければいけない。そしてできればこういったものをネタ

に使ってお菓子や野菜の名前、ネーミングですとかいうようなことをやっているところはいくつもあるわけです。そういう文化活動を盛んにさせていければ良いなと考えております。

現在13万人もいる座間市でありますけれども、代々座間で生まれ育った方々ですとか、他市からこちらに移ってきていられる方とかいう方々が織りなすまちではありますけれども、共通した郷土愛というものを作っていく一つの土壌というものがこういった文化財ではないかと考えるところでもあります。座間市だけを考える文化財ではなくて、高座郡というレベルで座間市を考えていく事も必要ではないかと思えます。我々ガイド活動をしておりますと、参加者の皆様からのアンケートや質問はそういったことに関わる、「座間市を知らなかった」「座間市を知れてよかった」というような反響がバンバン、まあバンバンというのは私の印象かもしれませんが来ておまして、こういったものを応えられるような情報発信の拠点づくりをぜひ。今までも四次までに書いてあるのですよね、書いてあるけれども実現してこなかったという事をぜひ一歩進めた計画に持って行っていただければと考えております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。今の御意見、重要な座間市の文化でありますとか、資源というものをどう守って活かしていくか、それを教育活動や市民文化だけでなく情報発信といった視点で観光にもつなげていけるのではないかということで、ふるさとガイドもそういった活動もされている事だと思えます。さらにはそれが郷土愛にもつながっていくというようなテーマだったかと思えます。その他例えばこういった文化とかいろいろな座間市の資源等に関してこういった活かし方とかいろいろな課題を持たれている方とか、御提案とか何かある方がいらっしゃればまとめて御意見いただければと思えますけれどもいかがでしょうか。

【参加者】

座間市PTA連絡協議会の〇〇と申します。先ほどいただいた郷土資料の話と関連するのかなと思うのですが、座間市の小学校、中学校でコミュニティ・スクールという動きがあるかなと思えます。来年度から本格的にどんどん各学校でやっていくと把握しているのですが、そういった中でも郷土資料とかそういった話はどんどん発信していただきたいなと考えていて、ちょっと今現在郷土資料をどういうふう、例えばインターネットを使って発信されていますよとかそういったところは私知識がないのですが、まずそういった郷土資料があるよというもの子どもたちに見せると、すごく昔のことが知れて良いのかなと思っていて、ぜひそこは学校と協力して発信していきたいなと考えています。郷土資料だけではないかもしれないですけど、座間市だと大凧というものが有名なのですね。大凧に関してももっともっと情報発信して良いのではないかと個人的には思っております。郷土資料に関するお話を聴いた上での感想になります。

少し話が飛んでしまうかもしれないのですが、人口が横ばいという話になっていて、話が難しいのですが、実際には高齢者が増えていく、座間市の中で今座間市に住んでいる方だけ

で、人口を増やそう、子どもを増やそうというのはなかなか難しいのかなと。じゃあ魅力あるまちに対して人を呼び寄せるといふか、そういうことをしなければいけないのかなと感じています。その為はどういった政策があるのかなというところもあるのですけれども、例えば自分が住んでいるところはひばりが丘の地区になるのですけれども、最近日産工場が建て壊しになった中でコストコがあったり、今度イケアができるのかとか噂があるのですけれども、そういった商業施設だけではなくて、住宅といふか人が増えるための土地といふか、そういった活用もあるのではないかなと。正直商業施設が増えることによって渋滞がすごくひどいですね。いろいろなナンバーの車が多くて、車が多くなったことで子どもたちが安心して生活できるような道路になっているかといふとそうではなくて、座間のはずれになってしまうところもあるので、道路が狭い中、遊歩道もしっかり整備されていない中で車だけが増えていく。そこら辺の道路のインフラの環境整備があまり行き届いていないなど。人が増えるための工夫といふのも少し取り組まなければいけないのではないかと考えているのですが、実際どういったことをすると人が増えるのかなといふのは自分も答えがないですけれど。そういったところとか、先ほど少し話、戻ってしまうのですけれど、コミュニティ・スクールに対してどのくらいの予算計上を検討しているのかなといふところをお聴きできたらと思っております。長くなりましたが以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。まず一つは先ほどの郷土資料といふか文化に関連してコミュニティ・スクール等での発信がすごく求められていると。子どもたちに発信していく事が重要ではないかといふ事、さらには地域資源である大風といふものにも発信や連携といふことがあるのではないかといふ事かと思えます。文化についてはそういったことかなと。

もう一つは人口の問題といふ事で、少し生活環境にも関わってくるのかなと思えますけれども、子どもを呼び寄せるためのいろいろな、商業だけでないいろいろな整備といふ事だと思えます。

まず文化とかそういった形で他の方から御意見などありますか。では、お願いします。

【参加者】

座間市おもちゃドクターの会の〇〇といいます。青少年センターで子どもたちの工作を指導したりとか、他の団体で学習支援など青少年センターですけれども。前のお二方のお話と関わるので御提案をお話ししたいと思えます。

まず一つは、これから箱物はもう作れない、作るという私もあまり賛成できないし、従来型の箱物といふのはないと思うのですけれども、活動の場がないと市民の活動は活性化できないといふか、具体的に言うと青少年センターの建物が使えなくなるという事に関しては非常に不安を感じています。サニープレイスに集約すると明らかに部屋の数が減るわけですし、今までのように安定して活動できないといふようなことを不安に感じているといふ事と、青少年センターもサ

ニープレイスもWi-Fiが使えないですよ。これは将来とかではなく今できる事ではないかと思うのですけれども、子どもたちの学習支援も今タブレットを使うようになっているわけなので、Wi-Fiはぜひ使えるようにしてほしい。それは今の話です。それで、私も座間生まれで郷土資料館が無いという事はとても心を痛めておりまして、私の子どもの頃はあったと思うのですけれども、無くなっちゃったのですよね。たださっき申し上げたように、立派な箱物、立派な建物を作るでもないような気がしていて、私もちゃんと話せない変な話ですけれども「あつまれどうぶつの森」ってありますよね。いわゆるメタバースですよ。その中にあったって良いじゃないかと思うのですよ。郷土資料館が。今VRって、Googleをかけてみると本当に現場にいるようなという事がだんだん安くできるようになってくるでしょうし、まずそういうものでコンテンツをちゃんと作ることで、活動の場は絶対必要なもので、何かしらの拠点はいつか欲しいですけれども、コンテンツを作る事は今からでも始められるじゃないかと思えますし、その私もそんなに若くないのでわかっているわけでもないのですけれども、そういうことが日常である若い人の意見をもっと入れてそういう企画をすとか、そもそもコンテンツを作る地域の歴史とか、コンテンツを作るところを例えば中学生にもやってもらって、そういう活動自体のほうが資料館という出来上がった物よりも、活動を毎年毎年中学生がやって資料をいろいろ増やしていくとか、活動自体に意味があるような気がするのです。それにしてもICTの技術といいますか、そういうことを入れていかないといけないと思えますので、自分が知らないのであまりうまく言えませんが、そういうことをむしろコンクリートとガラスよりもそういうことに予算を使っていったら良いじゃないかなと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。箱物だけでなくいろいろな活動の場という事でやり方があるのではないかという中で、いろいろなコンテンツ、今でいうICTのような技術を使って歴史を紹介することも考えられるのではないかといた御提案もあつたと思いました。そういった文化とかそういった視点は他にはよろしいですか。では、お願いします。

【参加者】

文化協会の〇〇と申します。今日進行している事と少し内容が違ふかもしれませんが、一昨年度の令和元年度、公共施設の整備計画の市民参加をやりまして、この中で学校のプールや公民館、あるいはコミセンとか、こういうものを統括してある程度一括していろいろなところを無くすとかいろいろな話がありましたけれども、これと第五次計画の中に入っているだろうと思えますけれども、そういった内容が全部含まれるのか、意見を聴きたいと思ひましてよろしくお願ひいたします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。公共施設に関連する質問という形だったと思います。その他よろしいですか。文化とか地域資源の活用といった視点、よろしく願いいたします。

【参加者】

図書館協議会から参りました〇〇です。会議の進め方ですけれども、この会には子育てと教育をテーマにしていたわけですよ。今皆様いろいろな意見をおっしゃっていますけれども、どうしてもっとまとめて柱を作って聴いてくださらないのかなと。ばらばらに意見を言っていて、例えば子育てと教育だったら学校教育なり社会教育なり、じゃあその文化教育施設はどうか、子どもの環境はどうか、それから郷土資料の事はどうか、それだったら市民との協働でどういう事ができるのかと柱を立てて関与していただかないとこれではただ意見を言うだけで、生産性がないとかおまとめになるのが大変と思うのですけれども。六つのテーマが出ていますよね。これは市役所ごとに担当の課があるはずですよ。ですからそこからもう少し四次ではこうだったけれども五次からはこういうことをやっていきたいけれどどうだろうかという、求めるものがないと議論というか、ただああしてほしいこうしてほしいと市民の意見を聴くというのだったらすごくこの時間がもったいないような気がするのですけれども、この会議の元々の趣旨をはっきりさせてもっと建設的に効率的に会議を進めるようにしていただきたい。いろいろ意見というかああしてほしいこうしてほしいと図書館側からもいろいろありますけれども、その前に皆様がいろいろな意見を言っても、ああしてほしいこうしてほしいだけで何の柱もないと思うのです。ですからもうちょっと関与する側として柱を立てて、社会教育がどうか、学校教育がどうか、そういう施設はどうかきちんと筋立てをして意見を皆様に聴いてほしいなと思います。もう1時間経ってしまいましたけれども、準備が少し足りないのではないかという印象を、厳しいことを言いますが、せっかく皆様集まっているのにこれでは何かああしてほしいこうしてほしいというの、それはじゃあまとまったらどういう形になるのかとか、そういうものが見えないのでここで意見を言ってもどうかかなという気持ちになってしまいます、正直。ですからただこうテーマを挙げられても全然これではわからないのじゃないですか。子育て・教育だけじゃ。この辺りにいろいろな柱があるはずなのですよ、そこをちゃんと踏まえてやらないと会議が本当に無駄だと思うので。きちんと考えていただきたいです。

【コンサルタント】

ありがとうございます。まず進め方というか柱の立て方だと思います。こちらについてはこちらで最初に柱を立てるといって、皆様の中で御意見が出てきた例えば今の中では文化とか教育といったものの柱について御意見をまとめさせていただこうかと。その中で先ほど子どもを呼び寄せるためにはとか子どもたちが安心して住みやすいといったようなテーマが上がってきたかと思えますので、この後そういった子どもの環境とかそういったものを私なりにはある程度時間配分を

しながら柱を立てていこうかと思っておりました。最初文化の事だけを少し意見を集約したという事で、それに関わらない団体の方もいらっしゃると思いますので、それは後ほどそういった柱というテーマを上げていただければそれについて意見をまとめていきたいと考えております。

今示しているまちづくりのテーマというのも、かなり大雑把なものだと思っております。先ほど説明ありましたように、全体的なことはこれから考えていくという事で、逆にそういった御意見を今日いろいろ言っていただきたいという事で、骨子が固まってくれば、先ほどの市民参加が重要で今後もやってほしいと御意見あったかと思っておりますので、その段階でもう少し踏み込んだものを市民の皆様にお示ししながら御意見をいただけるのかなと思っております。ですので、今まずは郷土や文化についていろいろ御意見いただきましたので、それについて一旦ここでコメントをいただきたいと思っております。郷土資料館の話、情報発信の話、子どもへの郷土愛といった話だったかと思っております。よろしく申し上げます。

【市長】

大変貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。郷土資料館についてでございますが、先ほど御説明いただきましたとおり、答申を教育長が受けまして、教育委員会でその辺りは意見をまとめているところではあります。郷土資料館は先ほどのお話の中で出ていましたが、もともと郷土資料館があったものを、新しいものを作るという事で取り壊したという経過がございます。今市内の学校ですとか、公民館や文化センターに、眠っているというのが今の座間市の状況です。御意見をいただいたとおり、そういったものを、郷土資料館は前の市長からずっと欲しいという思いはとても強かったのですけれども、やはり財政的になかなか厳しいというところで手が付けられなかったという現状があります。そういった中でどのような形で郷土資料館というものを設置していくことが本市としてふさわしいのかというものをこれから教育委員会と話をしながら進めていきたいと考えていますし、また、〇〇さんから御意見ございましたDX化といましようか、ICTを活用した形というのも大変すばらしい意見だと思います。今本市では実際のDX化という事でデジタル化をさらに推進していくという事で、その方針を策定しているところです。ですので、そういった皆様に、より多くの市民の方や全国的に座間市の歴史を知っていただくというのもやっていきたいと思っております。そして郷土愛を育むというところで、教育部長からも話が少しあるかもしれませんが、副読本などを通して子どもたちに座間の歴史を知っていただくような取組はしていますが、誇れる座間の歴史というものをもっと多くの人に知っていただきたいという事がすごく気持ちの中にあります。それを知ることが座間市に対しての郷土愛を育むことになると思っていますし、また様々な活動を市民活動団体の方たちがしています。そういう方たちがもっと複合的に交流をしていただいて、文化と経済というものが今まであまりつながっていなかったと思うのですけれども、座間市は人口密度が大変高い市なので、もちろん住む人を増やしていくというよりどちらかという維持していくとか、生産年齢人口の割合を増やしていきたいというようなことになるのかなと思うのですけれども、交流人口を増や

していくという視点は私は大変重要だと考えておまして、そういった歴史を見せていくことで交流人口をもっと増やしていったり、市民の絆とか郷土愛とか、今シビックプライドという言葉が流行りですけれども、シビックプライド、地域への誇りというものを醸成していくという考えをもって次期総合計画に活かしていきたいと考えています。また、教育の中でも子どもたちにもっと座間市の良い場所なども知っていただきたいですし、例えばひばりが丘や新しい地域の相模が丘とか、お子さんたちは入谷とか例えば鈴鹿長宿の古い街並みとかを御存知なかったりするのです、もっと座間の良い所をたくさん子どもたちに知っていただきたいという気持ちがあります。また座間には本当に素晴らしい歴史、旧石器時代から人が住んでいたという大変古い歴史があるので、座間の歴史についてもっと多くの方に知っていただきたいという気持ちがあるので、そういった気持ちを第五次座間市総合計画の中で活かしていきたいですし、また多くの方々に複合的な形で関わっていただいて良い化学反応が起きるような形ができればと思っております。

【企画財政部長】

御質問いただいた中で、コミュニティ・スクールの予算について、令和3年度は17校中2校を実施する想定をしまして、約50万円としています。公共施設の関係が総合計画との中でどのようになっているかというところですが、公共施設の再整備計画に基本的には則って今後総合計画の中にも反映されると思っております。

【教育部長】

郷土資料館について市長から説明がありましたけれども、若干補足等をさせていただきます。まず郷土資料館、郷土博物館、非常に必要ですというところで熱いメッセージをいただいているところがございます。第四次座間市総合計画で整備を進めていくというお約束をさせていただきましたが、まだ残念なことに叶っておりません。これについては教育部でも非常に重要な案件だと理解しておりますし、ただいま教育委員会内でいただいた提言書を一年間ほどかけてじっくりと内容を精査させていただいております。近日中に教育委員会の考えを市長部局に示していきたいと思っておりますのでそこは御理解いただければと思います。

また、企画財政部長からコミュニティ・スクールの今後についての話もありましたけれども、向こう3年間、令和3～5年度で総額720万円ほどを考えております。これは来年度4月から小中学校でコミュニティ・スクール事業を開始しますので、それに伴う増額でございます。

続きましてデジタルコンテンツの件につきまして、御意見等いただきました。非常に貴重な御意見を今回いただいたと理解しております。教育部の中でもぜひ内容を検討させていただきたいと思っております。

公共施設再整備計画に郷土資料館が含まれるかといったことについては、ただいま企画財政部長から回答あったとおりでございます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。いろいろ御意見いただいた、文化とかそういったものについても今日お示した子育てや教育の下にそういったものがテーマとして挙がってくる、重要なテーマかなという事は皆様の御意見を聴いて今後の参考にさせていただければと思っております。

もう一つ出てきました子育て環境といったテーマ、これは人口を増やす、維持するといったことに重要なテーマだと思います。これはハード、ソフトいろいろな面がありますけれど、そういった子育てに関する御意見がある方がもしいらっしゃいましたら挙手をお願いできますでしょうか。では、お願いいたします。

【参加者】

青少年指導員の〇〇といたします。よろしく申し上げます。青少年指導員という役柄、小学校中学校に行く機会が多いのですね。自分は座間で育ったのですけれども、自分が卒業した学校の校舎があって、懐かしいなと思うのはうれしいのですけれどもだいぶ老朽化が進んでいるようで、令和3年5月にまちづくりに関するアンケート調査の中で、子どもに優しいまちというのが一番だと聴いてもう少し、箱物どうこうという意見もあるかもしれないですけれども、子どもたちの学び舎をもう少し整備してもらえたらなと思っております。

もう一つ、放課後クラブを小学校で行っております。これをもう少し充実したやり方がないのかなと考えています。子どもに優しいまちと一言言っても、子どもに優しいまちも大切ですが、結局子どもを育てる親世代に優しいまちになれば自然と子どもに優しいまちになるのかなと考えています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。子育て環境という事で、最初の子どもさんが安全安心にという御意見と学ぶ環境というもの、これはハードもソフトも含めていろいろ御意見、さらには親の環境といったこともあったと思います。子どもに優しいというのが貴重なテーマになっているということだと思います。その他子育てやこういった環境に関することに御意見、御提案等ある方いらっしゃいますでしょうか。では、申し上げます。

【参加者】

座間市私立幼稚園連絡協議会から参りました〇〇と申します。幼稚園で子どもたちを見ていると、最近発達に問題のある子が非常に増えている実感があります。そういう中で市からも幼稚園に補助金をいただいたりとか、障がい福祉課さんと連携してそういった子どもたちを見る仕組み等々スキームは整備されているのですが、保護者が疾患を抱えている事があります。そうなった時に子どもを見る仕組みは非常にあるのですけれども、親の支援という部分でなかなか市の各部署の連携がうまくいっていないのかなというのが私の実感としてはあります。私自身が以前東

京都の職員だったのですが、多摩地域の市町村ですと各市に「子ども家庭支援センター」というものがありまして、そこに相談すると子どもの支援と親の支援を一手に担ってくれると。例えば子どもについては臨床心理士の先生とか、保護者については保健師がサポートするとか、そういったものを一括してワントップで相談に乗ってくれて支援するといった部署があったのですが、なかなか座間市ではそれがうまくできていないのかなというのが実感としてあります。ですので、何かそういった組織作りをしていただきたいなというのと、あと保健師だったり臨床心理士だったり専門職の方が割と非常勤の方が多いような気もするので、そういった中で職員の配置とかもまた検討していただければ今後の子育て支援という部分では非常に良いのではないかとこのように私は思っております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。いろいろ発達支援の問題があると、そういった保護者、親の支援とか、親というより家庭、子ども家庭支援センターということで、そういった支援をする組織ですね。そうした御意見御提案だったかと思えます。その他、子育てという事で、子育てといっても広いですが、では、お願いします。

【参加者】

座間市PTA連絡協議会の〇〇と申します。1個目の学校の話でいうと、ひばりが丘小学校も50周年を迎えたりと、50周年を迎える学校が非常に増えているなど。最近だったら東中さんが50周年を迎えました。また来年は東原小学校が50周年を迎えるというような形で、50年経っている学校が増えているなど。実際自分も旭小学校で学んでいたのですが、実際に自分が通っていた頃に比べると老朽化しているなというふうにごく感じています。改修とかも依頼しているのですが、なかなかやはり全部要望が通っていないところもあって、それだとやはり子どももなかなか来ないかなというところもちょっとあるので、少しそこら辺の費用がもう少し多く計上できないのかなと。

話が学校から飛びますけれども、放課後の話でいうと、公園で遊んでいる子どもがどれだけいるのかなというのがあるのですが、今実際ゲームをやっている子どもも多いですけれども、なぜゲームに行ってしまったかという昔みたいに空き地や広場が本当にはないです。ボールを蹴ったら怒られる、すごく子どもにとってはかわいそうだな、自由に遊べる場所が少なかったり、子どもの声がうるさいと近隣住民からの苦情があったりとか、子育てに優しいまちづくりといったところでもごく引かかると感じています。

先ほどの話で第四次の計画があって今第五次の計画を立てようとしている中で、第四次の中で立てた目標というのはゼロではないと思うのですが、ちょっと話が飛んでしまうのですが、第四次の計画があって、それが達成できなかったのはどういった理由があって達成できなかった。それがあって第五次に見直そうという感じなのか、自分も先ほど意見をされている方の話を聴き

ながら思っていたのですが、この場はどういう場なのかなというのがちょっとあって、じゃあこういった場を何回も何回も繰り返し行って、トータル何回やりますよとか、今1回目だけれど何回やって立てていこうというのかそういう全体像が見えないので、こういった意見をこの場しか言えないのか、チラシにもあるようにオンライン懇談会とか地区ごとに文化センターとかでやりますよというのがあるのですけれども、そこら辺の全体像が分からないなというのが正直、すみません。

【コンサルタント】

ありがとうございます。全体像というか市民参加については最初の御意見にもありましたけれども、今後の計画策定ないしはまちづくり全体に関する市民参加の考え方等はまた後ほどいただければと思います。今まで出てきた子育て環境、最初にいただいた子どもさんが安心して過ごせる環境とか、校舎の老朽化といったハードの話、それと発達支援であるとかそういったソフト的な話両方あったと思います。子育てまたは教育に関する部分もあったかと思いますが、それに関して一旦ここでコメントをいただければと思います。よろしくお願いします。

【市長】

大変貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。まず小中学校の老朽化というところが大きな課題だという事は、私も大変認識しております。公共施設の再整備計画というのを、10年間の計画を策定しているのですけれども、公共施設のうち、学校教育施設が床面積の半分を占めています。本来でしたら小中学校の再整備をまず計画を立てるところだと思うのですが、この10年間の中では学校の計画は立てておりません。とにかくそこを早急にやらなくては、例えば先ほども出ていました複合化ですとか、学校の在り方というものをしっかりしていく、その中で長寿命化していく施設はどれなのか、また新しく建て替える施設はどれなのか、といったところをやはり整理しなければいけないところで教育委員会には話をさせていただいております。とにかく義務教育というのは自治体で行わなくてはいけない事であり、本市の小中学校の老朽化というところは課題があるという認識はしているので、ただどうしても財政的に大変掛かってしまう事ではあるので、ここをどのように工夫をしながらやっていくかという事が本当に大きな課題だという認識をしております。

あと、発達に障がいのあるお子さんの話がございました。この発達に障がいのあるお子さんの課題というのは本市が抱えている様々な課題の、割と根源的な問題と捉えておりまして、自分が市議会議員の時代に発達障害の保護者の親の会の立ち上げをお手伝いさせていただいたり、そういった啓発の講座をしたりとそういったことをやってきました。今、児童発達支援センターの準備を進めておりますので、そういった所を拠点にしながら御意見いただいたところを、複合的な支援をしていけるような連携ができればと考えておりますし、いただいた御意見は大変貴重だと思っております。今本市でも市内連携というものがスムーズにしているところと、そうじゃ

ない所もあるので、とにかく庁内連携をしっかりとやりましょうという事で、本格的な庁内連携という事を今盛んに行っているところです。子どもに優しいまちづくりというのは、生産年齢人口を増やすためにもまずは未来を担う子どもたちをしっかりと育てていきたいというのは市民の皆様への願いだと思っておりますので、ここはしっかりと押さえていながら次期総合計画を策定していきたいと考えております。

【コンサルタント】

よろしいですか。では、よろしく申し上げます。

【企画財政部長】

最後の第四次総合計画と第五次総合計画の関係についてですけれども、先ほど申し上げたとおり第四次座間市総合計画につきましては一定のとりまとめをしております。ここで一つ一つについて、どういった原因で達成できなかったというのは割愛させていただきますけれども、本市として原因等はある程度分析しているつもりです。あとは社会情勢が刻々と変わる中で、第四次座間市総合計画に掲げたものをそのまま第五次座間市総合計画に掲げるべきなのか、はたまた方向がまた変わっていくのかというのは、今回機会を設けさせていただきながら皆様の御意見を聴きながら私どもで御意見を承って今後骨子案なり素案なりでお示しをしていきたいと思っております。こういった形で特定の分野の専門の皆様にお集まりいただく会議を今日も含めてあと2日開かせていただいた後、今度は5か所を想定しておりますけれども、地域の皆様に地域の課題などを中心にお話を聴く機会を設けております。また、オンラインで、特定の日程に御参加できない方等が参加できる機会という事で、オンライン懇談会も1日設けさせていただいております。それを基に、ある程度の骨子案を作らせていただいて、その後は大変申し訳ないですけれども、こういった形でお集まりいただくのではなく、パブリックコメントという形でホームページで私たちの案を示させていただいて、それに関して御意見をいただく機会を設けさせていただこうと思っております。そこである程度の方向性が固まった後に、その方向性を目指すためにどういったことをやっていくか、より具体的なものを、それを私たちは施策と申し上げておりますけれども、そういったものをお示しする前に改めて今度は地域の方々に御意見をいただく機会を設けさせていただきたいと思っております。それで御意見を賜った中で、素案として全体像をお示した中で再度パブリックコメントをさせていただいて、皆様から御意見を集約させていただいて、最終的には議案に議案として上程させていただいて、御審議いただくようなことを想定しております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。今後も意見を聴く機会というものはあるという事と、そういう意味ではこの場というのは最初の段階という事で、御意見いただいたようにもう少し方向性を示してというような御意見もあったかと思っておりますけれども、まだその前の段階だというようなことで御理

解いただければと思います。逆に今後の8年の総合計画に今日の皆様の御意見等を参考にさせていただくことが十分できる段階だと御理解いただければと思います。

まだもう少し時間がございます。その他にも若干教育とか子育てといった話もあったと思います。その他もう少し踏み込んだ保育とかそういったこともありますでしょうし、もう少し子どもだけでなく大人も含めた生涯学習、社会教育、スポーツ等色々活動されている団体さんもいらっしゃると思います。まだ発言されていない団体さんとか、どうぞお願いします。

【参加者】

今おっしゃっていただいた社会教育団体の、地域婦人団体連絡協議会の〇〇と申します。いわゆる婦人会ですね。座間市の婦人会も創立70周年を過ぎているのですが、本当にここ何年か弱体化しまして、今会員が30名くらいしかおりません。何が言いたいかといいますと、本当に高齢化になりまして、それでも市のいろいろな行事のお手伝いをさせていただいています。緑化祭りですとか、大風まつり、健康サマーフェスタ、ふるさとまつりとかに出て行ってお手伝いするわけですけども、周りを見回してもいろいろな団体さんが協力しているわけですが、どちらの団体さんも結構高齢化が進んでいるわけですね。今まで座間市は協働という事でいろいろなボランティアが関わって皆様いろいろなことをやってきて、それなりに成果が上がっているのですが、この先を見まして女性は社会進出が進んで、私の所属している婦人会は私より若い人がいないのです。本当にここ何年かでもうおしまいかななんて思っているところですが、地域を見ましても、うちの地域は婦人会を10人くらいでやっているのですが、他の地域を見回してもほとんどないですね。子ども会さんも然り、自治会さんも地域によってはもちろん一生懸命やってらっしゃるところもあるのですが本当に弱体化してましてね。そういう地域のつながりをなんとかまた活性化するというのですかね、それを何とかコミュニティセンターですとか公民館さんもいろいろ一生懸命講座とかいろいろやってくださっていて良いと思うのですが、もう少し地域に根差した何かを市でやっていただけるとありがたいなと思っております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。今のお話はいろいろな団体さんに関わる事かなと思っております。これは分野というよりも最初にありました協働や共創のまちづくりを進めるに当たってその仲間としていろいろな団体さんのつながりとか、当然行政とその団体さんのつながりとかもありますけれども、その中で団体の活動自体のいろいろな課題というものがあるのかなと思いました。その他そういった活動をされている中で教育とか子育て、文化、活動の中でのいろいろな課題とか、それが共助ないし公助としてどういったことがお願いできればという事も含めて御意見ある方いらっしゃいますでしょうか。では前の方お願いします。

【参加者】

座間市民間保育所理事長園長会の会長代理で来ております〇〇と申します。本日はお話を聴きにくれば良いと思って何も準備していなかったのですが、先ほど言った方の意見だったり皆様の意見を聴いていて、会としても毎年必ず市長さん宛に民間保育園の困っている事や、先ほどの障がいがある子の問題だったり保護者のケアだったりも要望しておりますが、やはり自分たちの意見を聴いてほしいというのもあるのですけれども、みんな何でも全部市役所の行政の方をお願いしてもなかなか実現しないというのがここ3年も4年もその状態で、私たちも毎年同じような要望を出している状況です。

それとはちょっと、保育園の代表で来ているのですけれども、園として自治会に入っておりまして、最近是我的な活動としては地域の方とすごくお話をし、活動しているのは災害時の一人暮らしの高齢の方をどのように誰が避難所で安否確認をするかというような問題について地域の方々と部会を作って月1回話し合っているという活動をしているのですが、そこは自治会の会長さんだったりとよく話しますけれども、福祉の大きい括りの中でもやっぱり縦割り行政の中で、すごくやりたいことがスムーズにできない。なので、もう行政のほうに期待していないではないけれど、共助公助というお話が出ましたけれども、自助を強化していきたい。自分たちでできること、無理なくできることは何だろうという事を考えていて、その活動を行政の方には後押ししていただくような、横のつながりがスムーズに活動できるような、お金がなくても地域の方ともう1回お話をし、すごい狭い地域の問題ですけれども、話し合う事が今はすごく充実していますので、こういう活動が各地域でやっていただければ市役所さんの負担も減るのかなと思って、そうなったら良いなというふうに思っております。ただいま保育の代表としての要望は、ぱっとは出てこないですけれども、自助が進むような何か取組もしていただけると良いかなと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。今出していただいた協働ないしは共創ということで、それぞれの団体さん全てに関わる内容かと思えます。少しこの辺に関して市の御意見等少しコメントをいただければと思います。

【市長】

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。私は市議会議員の時代に地域活動を様々な面でやらせていただきました。そういう中で地婦連の方がおっしゃったとおり、各団体の高齢化が進んでいるという事に課題をととても感じまして、そういう会を活性化するに当たって切り口を変えて若い方とつなげたりというのを活動としてはやってきました。そういうことを市全体として取り組んでいきたいという気持ちが市長をやらせていただく中で強くありました。今様々な団体がとても良い活動をされているのですけれども、それが次の世代に引き継がないよ

うな状況があります。ただ若い方たちは、私たちがやってきた地域の中でとか所属意識が今低くなっているのかなという事を感じているので、切り口を少し変えてみたり、新しいツールを使ってみたりすると、例えばイベントをやると若い方がたくさん集まってくれたりとか、その中で地域の活動をしている方とつなげていくという事を今までやってきたのですけれども、そういったことを市の職員がおそらく団体さんとはつながりがあって知っている団体とかあると思いますけれども、市の職員も4～5年で人が変わってしまうので、皆様が知っているかというとなかなか知らないという事もあるので、地域の事をもっと知る職員が増えてほしいというのが私の中です。その中で地域というものは、〇〇様からも御意見ございましたが、各地域の中でステークホルダーというかキーマンの方がいたり、そういうお仕事としてというか、保育園さんがこうやって一人暮らしの高齢者の方をやっていただいているのは本当にありがたい限りですけれども、若い力があるというか、人としての資源があったりするとと地域がつながって地域を作っていく、というような新しい角度での地域づくりというのも大変重要だと思っているので、〇〇保育園さんでやられている活動を皆様にもお知らせをしながら市としてどういった応援をできるのか、自助を高めるような応援を市としてはどういうことができるのか。人がつながるだけでもだいぶ活性化していると思っていますのですね。座間は幸いなことに人口はまだ減少にはなっていない、13万人がいる。座間の立地条件から考えてそんなに極端に人が減るということはないのかなと見てはいるので、座間市にいる素晴らしい皆様のそれぞれの活動をもっとつなげていく事で、今の活動がさらに活性化をしたり、次の世代につなげられたりすると思っていますのですね。それをするためにどうしていったら良いかというの、また職員とも考えていきたいと思っています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。協働のまちづくりは第四次でもいろいろとこれまでも座間市で取り組んでこられているかと思います。それにさらに共創といったテーマも含めて今後の計画にも重要なテーマになると思います。

そろそろ時間ですけれども、あと一つ二つくらいまだ発言されていない団体さんとか全体を見ておられる方いらっしゃれば。お二方いらっしゃいますので後ろの方から。

【参加者】

ボランティア研究会の〇〇と申します。私どもでは暮らしを豊かにする講座というのを開かせていただいていますけれども、講座の中では講師をお呼びして健康とか趣味の事をやらせてもらっているのですけれども、実費が掛かる場合があるのですね。それでもそれはいかんと、無料でやらなければいけないという御意見がありましてなかなか制約がある。

もう一つサロンという事で、公園でお年寄りの方が健康に生きて生活できるようにと思って、歌を歌ったり体操をしたりということによって、管理しているところの部署の方はいかんと。でも例えばお年寄りが健康で健やかに巣立ってもらいたいというのも皆様の望みだと思うのですよ

ね。だから公園を管理してる方はだめだというのだけれど、健康を考える方は進めたほうが良いという御意見をお持ちだと思うのですよね。そういうのがどこかどうしてもでてこない。そういう市民の要望みたいなものですね。一つの部署だけではなくて多岐にわたる項目もあると思うので、相談を受けていただくところがあれば、その受けていただいた方は全体の多岐にわたったことで判断していただいたりすると、とてもやりやすいなと日頃思っておりますのでそれだけです。

【コンサルタント】

ありがとうございます。最後に前から2番目の方お願いします。

【参加者】

座間市の子ども会をやっております〇〇と申します。全体を聞いていて子どもに優しいとかいうお話もあってとても嬉しかったのですが、子どもに優しいという事であれば、もう私も長年やっているのですけれども、家庭・地域・学校この三つの連携が取れば良いというのはもう常々言っているのですが、行政側の管轄が違ったりとか、今細かいことを言えば子ども会に入るのに自治会に入っていないよね、とかそういう細かいこともあるのですね。私立の学校とかそういう細かいことがあって子ども会に入れなかったり、そういう子どもたちを私たちが別に拾い上げて子ども会を別にやっているのですが、小学生をはじめ中学生高校生の青少年の育成という事もやっているのですが、皆様御存知のとおり青少年センターの老朽化という事でいずれ変わらなければいけない、移らなければいけないという事ですが、座間市はコミュニティバスはあるのですが、ちょっとした研修施設、そういったものが全くないのですよね。変な話、隣の市に、この周りの市に行けば大体あるのですよ。座間市はそういう施設が1か所もない。

もう一つ、公園ですが、どの公園もブランコ、滑り台は大体あります。ですが小学校の中学年、もしくは高学年が遊べるような、例えばアスレチックの入ったような遊び場というのが、芹沢公園のほうに行けば多少大きな滑り台とかあるのですがそこしかないと思うのですよね。ただ交通の便が、そこは通りが激しくて自転車で行くことはできないのですが、公園の設備とか遊具を少し見直してほしいという事と、座間市の各公園には防犯カメラがちゃんとあるのかなという事も言われたことがあるのですね。今何かが起きては遅いわけですので、公園に対しての防犯カメラ、中高生たちが例えば休みの時に公園でたむろしてしまうという傾向もありますし、大きな課題として子ども会として小学生たちを遊ばせるのに遊ばせる場を私たちは提供しているわけですが、なかなか市内にはないのと、あと座間市内はバスがないですね。バスがあると良いねという話もあったのですが、そういうところはどうでしょうという事と、さっき言った家庭と地域と学校の連携はどうやったら具体的にとれるのだろうと、なかなかそういう視点は話し合う場もないものですから、それが取れないのはちょっと残念です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。最後の二つの御意見、一つは講座やサロンの活動をする中で市民活動に関する相談の受け皿や窓口に関する事、その後は最後の方が言われていた子育てに優しいという事ですけれども、家庭、地域、連携その辺の行政側の管轄、行政運営に関する御意見だったかなと思います。あとは遊ぶ場や学ぶ場、研修や公園とかそういった御意見もあったかと思います。最後にコメントいただければと思います。

【市長】

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。今後の公共施設の活用方法の所かと思うのですが、そういった御意見をいただきながら、おそらくそれぞれの施設で無料じゃないといけない所が決まっているのかなど。実費が掛かる場合は参加費として受けている所もあると思うので、やはり柔軟な運用をしていけるような形をとっていくというのが大変有効なことだと思うので、その手法については今コミュニティセンターを指定管理させていただいているのですけれども、地域の使用している皆様に使い方を決めていくというようなそういった手法も今後考えていけたらなと思っております。

地域サロンの話がございました。私も実際地域サロンの運営をさせていただいておりましたので、行政の職員が地域サロンに対しての理解であったりとか、そういうところは横断的にはなかなかなくて、介護保険にある程度参加をしてくれたり把握もしていたりするのですけれども、実際に関わっているのは社協さんが関わっていて、地域サロンは地域福祉をどうするかという視点で、全職員は地域福祉について市としてどういう考え方をもって取り組んでいくかというところで共通の認識を持っていかなくてはいけない。持った上で、この部署ではこういうことができる、この部署ではこういうことができるといったようなそういった視点を持って取り組んでほしいなと思っております。

先ほど子どもの遊ぶ場という事で御意見ございましたが、今本当に公園で遊んでいても苦情が入って警察が呼ばれるようなそんな時代になっていて、子どもたちが思い切って遊ぶような場が本当になくて、今の子どもたちは本当にかわいそうだなと思うのですけれども、そういう中で例えば今座間のイオンさんの3階で子どもたちが遊べる場があったりするのですけれども、そういった民間の活力なども活かしながら市民の皆様にも子どもたちが遊んでも苦情を言わないというか、市民同士の理解も立場が変わってしまうと苦情を言ってしまったりという事もあると思うので、でも確かに若い時は子どもたちの声あまり気にならなかったけれども、病気になってしまったりとかで子どもたちの声気になる方もいらっしゃるの理解しているのですけれども、その辺りはそれぞれの立場で意見が違うという事も含めて多くの市民の方々に、子育てに優しいというか子どもたちを地域で育てていきたいと思いますという認識を持っていただくように話を進めたいと思っております。家庭・地域・学校の連携というお話もあったのですが、今後そのキーポイントになるのは先ほどからお話出ていますコミュニティ・スクールだと思います。学

校が地域の中でどうあるべきか、学校が地域コミュニティに大変重要な役割を果たしていくと今後思っているので、学校の在り方とかコミュニティ・スクールの在り方も通しながら、家庭・地域・学校の連携というのはそういった中で培っていったらというふうに思っています。公園には、ある程度防犯カメラは設置されていると思います。結構細かい広場がたくさんあるので、全部ではありませんが、防犯カメラも今設置をしていて、先日防犯関係の方たちに集まっていただいて、今後の座間市の防犯カメラの在り方について、今まで設置をしていましたけれども費用がどんどん掛かっていくという事でこれをどうするかというような話し合い、意見交換などもしています。これからは今活動してくださっている皆様とこのように話す機会をいろいろな場面でたくさん作っていきながら、皆様がつながるとい事ももちろん大切ですし、職員に市民の皆様の活動をもっと知ってもらおうという事が大切だと思うので、そういう場を様々な分野で設けていって、目標設定から市民の皆様、活動している皆様や企業の皆様も含めた形で共に創るまちという事でやっていきたいと思っています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。それでは時間も迫ってきましたので本日の意見交換はこの辺にしたいと思います。まとめとして引き続き市長から一言総括いただければと思います。

【市長】

今だいぶまとめましたが、本日大変貴重な御意見をいただきました。本日いただいた意見をまた職員にも情報共有させていただきながら、座間市の市民の皆様本当に素晴らしい方が多いので、それを職員にもよく理解をしてもらいまして、これからのまちづくり、皆様と共に座間市の未来を創り上げていきたいと考えておりますので、今後とも市政運営の御理解、御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【コンサルタント】

それでは、意見交換はここまでといたしまして、本日いただいた御意見は、第五次座間市総合計画への参考にさせていただきたいと思っております。いろいろ御意見ある中で私なりに皆様の御意見を聞きながら少しテーマを分けて説明させていただきましたけれども、少し不十分なところがあつたかと思えます。申し訳ございません。それでは進行をお返しいたします。

5. 閉会

別ファイルにまとめています。